



SIMOT Research Center NEWSLETTER

No.11 2006.8



東京工業大学 インスティテューショナル技術経営学研究センターニューズレター

目次

	ページ
● トピック	中原評価委員長 技術経営大賞受賞 1
● イベント報告	第6回アジア電子商取引ワークショップ 第4回 Inter-COE21 シンポジウム アジアの人々の見る日本：留学生4桁時代の提言 2
● コラム	経営者のMOTリーダーシップ 3
● 学生の目	歴史あるSIMOT的思考 3
● 最近の動き	4
● イベント予定	4
● 連絡先	4

トピック

中原評価委員長 技術経営国際会議 技術経営大賞受賞 (2006年7月11日 トルコ イスタンブール)

SIMOT リサーチセンター評価委員長 中原恒雄氏 (日本工学アカデミー会長、元 住友電気工業株式会社 副会長) は、トルコ・イスタンブールで開催された2006年 PICMET(技術経営国際会議:Portland International Conference on Management of Engineering and Technology) にて、2006年技術経営大賞(PICMET 06 Leadership on Technology Management Award :LTM) 受賞の栄誉に輝かれました。

PICMET は、MOT 分野において世界最高レベルの国際会議であり、LTM は、技術経営分野の実践的戦略の確立にリーダーシップを発揮した個人を対象に授与されるもので、世界トップリーダーが毎年4名選出され、表彰されます。

中原委員長の受賞は、光ファイバーケーブルの開発を始めとする最先端の技術分野における優れたリーダーシップにより、電子技術の振興に大きく貢献された功績が評価されたものです。

SIMOT は、同委員長のこのようなご経験に裏打ちされた辛口のご指摘に期待しているところです。



Robert R. Harmon ポートランド州立大学教授(左)よりLTM賞の盾を受け取る中原委員長



■ イベント報告 ■

第6回アジア電子商取引ワークショップ (2006年8月3日-5日 福岡 シーホークリゾート福岡)

日本、中国、韓国の東アジア3カ国の研究者30名あまりが参加して、電子商取引に関する研究発表大会「アジア電子商取引ワークショップ (Evolving e-Business and Institution)」が、8月3日(木)~5日(土)、シーホークリゾート福岡で開催されました。このワークショップは、2001年の北京(中国)大会を皮切りに、ソウル(韓国)、東京(日本)の順で開催され、今年で6年目になります。



SIMOTからは、SIMOTリサーチセンター員/運営委員 飯島淳一教授、同 妹尾大助教授、曹徳弼慶応義塾大学教授の3名が実行委員として、企画・運営を担当しました。

このワークショップの特徴は、本学、KAIST(韓国科学技術院)、清華大学という、各々の国を代表する理工系大学におけるICT(情報通信技術)と経営との接点について研究を進めているグループが中心となって、技術に裏付けられた議論を、少人数による密度の濃いコミュニケーションを通じて展開していることにあります。

ワークショップでは、遠隔リアルタイム・コラボレーションの実験も並行して行われました。(これについては、次号にて)

第4回 Inter-COE21 シンポジウム(2006年8月11日 東工大 70周年記念講堂/西9号館コラボレーションルーム)

東京工業大学では、毎年21世紀COEプログラムの12拠点が合同でシンポジウムを開催しています。

第4回となる今年は、8月11日(金)に主に高校生を対象に実施されました。

午前中は70周年記念講堂において、相澤学長および下河邊副学長から21世紀COEに取り組む意義、SIMOTを含む各拠点で進められている研究などについての説明があった後、本学連携教授の脳科学者、茂木健一郎氏の特別講演が行われました。



引き続き、教員・学生が、直接高校生の質問に応じる交流会を経て、午後からは、各拠点に分かれての見学会が行われました。SIMOTでは、下記3名の東工大出身学生ベンチャー起業家をお招きして、「君たちの創るニュービジネス - 先輩社長の在学ベンチャー体験 / 革新商品の体感実験」と題した催しをとり行いました。

- ・古府 裕雅 氏 (オイシックス株式会社 取締役)
- ・高尾 正樹 氏 (トリオンサイト企業組合 代表)
- ・南里 陽介 氏 (有限会社mimi 代表取締役)



市場化直前商品の販売先や用途などのアイデアをグループごとに競うマーケティング・シミュレーション・ゲームにおいては、斬新なアイデアが次々と提示されたこともさることながら、高校生が予想以上の積極性を発揮して、プレゼンテーションに参加し、意見を発表したことから、会場も大いに盛り上がりました。



どのグループのアイデアも、甲乙つけがたい優れたものであり、今回の Inter-COE に朝からご参加くださった、中原恒雄 SIMOT リサーチセンター評価委員長も、高校生の活躍を高く評価され、彼らの担う東工大の未来に太鼓判を押されました。

今次 Inter-COE での企画を通じて、SIMOT 研究教育の一端を体感していただけたものと自負しております。



アジアの人々の見る日本:留学生4桁時代の提言 (2006年7月28日 東工大 百年記念館)



研究・技術計画学会国際問題分科会7月例会では、東京工業大学留学生センター教授 仁科喜久子氏にご講演いただきました。

先進国の留学生受入政策の紹介、中国・マレーシア・タイを事例としたアジア諸国の留学生動向のレビューを通じて、21世紀における日本の留学生政策の方向性について活発な議論が行われました。「質のよい留学生の受け入れ、送り出しの循環的教育システムの構築」など、氏の提言の数々は、SIMOTの課題である「日本の技術経営が本来機能を回復し、世界価値を創造するダイナミズム」にも大いに示唆に富んでおり、今後研究・教育を進めていく上での刺激となりました。

コラム

「経営者のMOTリーダーシップ」

SIMOT リサーチセンター運営委員
東京工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科教授 田辺 孝二



技術経営専門職学位課程の技術経営専攻では、経営者をゲスト講師としてお招きし、ご講演・討議などを通して、技術経営のあり方やリーダーシップを学ぶ科目「経営者論セミナー」を実施している。今年度前学期には、瀧久雄ぐるなび会長、飯塚哲哉ザインエレクトロニクス社長、大星公二NTTドコモ元会長、鈴木修スズキ会長、岡部弘デンソー会長にゲスト講師としてお話しいただいた。

瀧会長から「30年前から開始し赤字続きだったIT投資があったので、インターネットの出現で直ぐにグルメ情報サイトを立ち上げることができたこと」、飯塚社長から「日本の技術者はこれでいいのかという思いで大企業を退職し、ファブレスベンチャーに挑戦したこと」、大星元会長から「携帯電話の販売増の頭打ちと過当競争から脱却するために、ウォークマンに着目し、付加価値の高い非音声通信市場(iモード)を開拓することにしたこと」、鈴木会長から「あいつは正気か、と言われたが、どこかで一番になるとメーカーのないインドに進出したこと」、岡部会長から「利益が出ていた携帯電話事業から撤退を決めたこと」など、トップみずからの時流に乗らない独自の決断・チャレンジの重要性等を学んだ。

学生の目

歴史あるSIMOT的思考

東京工業大学大学院社会理工学研究科
経営工学専攻博士課程1年 森山 幸司



先日、関西で働いている同期の二人が研究室を訪れてきました。一人は関西出身ですが、もう一人はずっと東京近辺で育った方です。彼らと話しをしていると関西は東京とは違うということがひしひしと伝わってきました。また、私の育った地方と東京とでも人々の気質や習慣など違いが多く感じられます。日本人はとかく画一的といわれますが、そのようなこともないようです。

こんなことを考えていると、自然とSIMOTのことが頭に浮かんできました。人々が画一的でないことの証左のひとつとして、日本にはその土地の人々によって作られた地方独自の名物や文化がどこにでもあります。それらはなぜその地方に根付いたのでしょくか？しばしば、それらはその土地の風土などがあっていただけだからなどと説明がなされます。これはSIMOTで言うところの「インスティテューションとの共進」が起こった結果であると説明できます。

はるか昔からSIMOTの考え方は根付いていたのだと思います。しかし、体系的にまとめられたわけではなく、人々の体に染み付いていたものといえるのではないのでしょうか。それを体系的にまとめ、可視化、操作可能化をし、様々なインスティテューションのもとでどのようにイノベーションを起こしていくのかについての方法論を確立するものがSIMOTの目指すところではないかと考えています。

掲載記事紹介 - 日経 BP 知財 Awareness CIPO フォーラム -

日経 BP 社ホームページ「日経 BP 知財 Awareness CIPO フォーラム」に、SIMOT リサーチセンター員/運営委員 田中義敏 イノベーションマネジメント研究科助教授の、企業経営における知的財産部門の連携に関する記事が掲載されました。企業経営における知的財産部門の現状と課題を指摘し、知財経営の実践に向けた今後の方向性について、3回にわたり掲載されました。

関連 HP <http://cipo.jp/articles/20060801.html>

最近の動き**海外出張**

渡辺 8月23日~28日 オーストリア ウィーン (国際応用システム分析研究所: IIASA で国際共同研究打ち合わせ)

永田 9月15日~23日 オーストラリア(The 7th Annual Conference of the Asian Academic Accounting Association での発表 University of Sydney、University of New South Wales 訪問)

10月13日~22日 アメリカ(The 18th Asian-Pacific Conference on International Accounting Issues での発表、Asia-Pacific Financial Markets Research Center 訪問)

イベント予定**研究・技術計画学会 国際問題分科会 8月例会**

日時 8月30日(水) 18:00~20:00

場所 東京工業大学 百年記念館 第1会議室

テーマ 日本社会における人材の流動化: グローバル・エグゼクティブサーチの視点から
- 「インスティテューショナル技術経営学」への示唆

講師 増山 美佳 氏 (エゴン ゼンダー インターナショナル パートナー)

エゴン ゼンダー インターナショナルは、世界各地に50拠点のオフィスネットワークをもち、擁するコンサルタントは約300名。業界最大手として、エグゼクティブサーチを中心に、クライアント企業の人材招聘・組織編成の強化をアシスト。日本では、1972年にオフィス開設。クライアント企業には著名企業多数。

平成18年度前期 SIMOT RA 研究報告会

日時 9月27日(水) 13:00~17:30

場所 東京工業大学 西9号館2階 コラボレーションルーム

● ● 発行 ● ●

東京工業大学 21世紀 COE プログラム
「インスティテューショナル技術経営学」 SIMOT 事務室

〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1 W9-51
東京工業大学大学院社会理工学研究科経営工学専攻内
西9号館208B号室
TEL: 03-5734-2936 FAX: 03-5734-2250
Email: nakane@me.titech.ac.jp
URL: <http://www.me.titech.ac.jp/coe/index.html>
編集者: 菊池 隆